題は12ポ、ＭＳゴシック（和）かArial（英）で太字

副題は11ポ、**ＭＳゴシック**か**Arial**で太字

氏名（所属 職名）10.5ポイント

立命館　太郎（立命館大学食マネジメント学部 准教授）；　立命館　華子（びわこ・くさつ研究所 研究員）；　滋賀　食美（立命館大学大学院博士前期課程）

キーワード：キーワード１、キーワード２、キーワード３、キーワード４、キーワード５、

要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨要旨旨要旨要要旨要旨要旨要旨要旨要旨旨要旨要旨要旨要旨要旨（400～600字程度）

目次　【メモ：章と節のタイトルのみとし、項見出しやページ数は記さない】

第一章　序論

　一節　節タイトル

　二節　節タイトル

第二章　章タイトル

　一節　節タイトル

　二節　節タイトル

　三節　節タイトル

第三章　章タイトル

　一節　節タイトル

　二節　節タイトル

結論

1. 章タイトル（10.5ポ、**ＭＳゴシックかArial**で太字）

一節　節タイトル（10.5ポ、**ＭＳゴシックかArial**で太字）

項タイトル（10.5ポ、**ＭＳゴシックかArial**で太字）

本文本文本文本文本文本文本文本文、本文本文本文。本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文。

本文本文本文本文本文本文本文本文本文、本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本、文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文。

図・表・写真

「文字列の折り返し」を「四角形」または「行内」とする。

図・写真の場合は、番号とタイトルやキャプションは下につける。

表の場合は、番号とタイトルやキャプションは上につける。

表１：表のタイトルと出典。（日本語はＭＳ明朝体、英語はTimes New Roman、10ポイント。図表データの「文字列の折り返し」をこの例のように「四角形」にした場合は、図表番号とキャプションは、「図形」の「テキストボックス」を用い、段落設定で行間を固定値１０ポイントにすること。）

本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文

項タイトル（10.5ポ、**ＭＳゴシックかArial**で太字）

図・表・写真

「文字列の折り返し」を「四角形」または「行内」とする。

図・写真の場合は、番号とタイトルやキャプションは下につける。

表の場合は、番号とタイトルやキャプションは上につける。

図１：図のタイトルや出典。（日本語はＭＳ明朝体、英語はTimes New Roman、10ポイント。段落設定で、行間を固定値１０ポイントにすること。図表データの文字列の折り返しを、この例のように「行内」にした場合、キャプションは、「図形」の「テキストボックス」を用いてもよいし、この例のようにボックス外に書いてもよい。）

本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文[[1]](#footnote-1)

立命（2002, p.162）は、「引用引用引用引用引用引用引用引用」と主張している。本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文

（改行）

二節　見出し（10.5ポ、**ＭＳゴシックかArial**で太字）

項タイトル（10.5ポ、**ＭＳゴシックかArial**で太字）

本文本文本文本文本文本文文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文[[2]](#footnote-2)

本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文

項タイトル（10.5ポ、**ＭＳゴシックかArial**で太字）

本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文

本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本文本

利益相反

立命館　華子：奨学寄付金（A 社），立命　太郎：株保有・利益，奨学寄付金（A 社）。【メモ：本論文発表内容に関連する企業等との関係において、①顧問，②株保有・利益，③特許使用料，④講演料，⑤原稿料，⑥受託研究・共同研究費，⑦奨学寄付金，⑧寄付講座所属，⑨企業および企業関連機関所属，⑩贈答品などの報酬等の利益相反について、ここに明記する。】

本論文発表内容に関連して申告すべき利益相反状態はない。【すべての著者が、申告すべき利益相反状態にない場合】

滋賀　食美：本論文発表内容に関連して申告すべき利益相反状態はない。

立命館　華子：本論文発表内容に関連して、以下の申告すべき利益相反状態がある。受託研究・共同研究費（B社）。【著者の一人が利益相反状態にある場合】

滋賀　食美，琵琶湖　次郎：本論文発表内容に関連して申告すべき利益相反状態はない。

下記の著者は、本論文発表内容に関連して、申告すべき利益相反状態がある。立命館　華子：受託研究・共同研究費（B社），立命館　太郎：株保有・利益，奨学寄付金（A 社）。【複数の著者が利益相反状態にある場合】

参照文献

参考文献:10ポイント、日本語はＭＳ明朝体、英語はTimes New Roman。

滋賀太郎(2002)「学生食堂の国際化へむけて：試論」『食マネジメント研究』1(2):59-67。【メモ：雑誌論文の場合。著者氏名（出版年）「論文名」『雑誌名』巻（号）：論文の最初の頁-最終頁。】

―（2018）『食科学研究のヒント』立命館大学出版。【メモ：上と同じ著者の場合】

滋賀太郎、立命華子（2017）『琵琶湖の食資源』琵琶湖出版。【メモ：単行本の場合。著者名、他の著者名（出版年）『書名』出版社名。】

立命華子（2016）「食マネジメントの研究」滋賀太郎ほか編『立命館大学食マネジメント学部とは』（pp.10-30）立命館大学出版。【メモ：論集掲載の論文や書籍の分担執筆の場合。著者名（出版年）「論文名」編者名編『書名』（pp.掲載ページ）出版社名。】

観光庁（最終更新日2018年10月23日）「訪日外国人消費動向調査」『国土交通省観光庁公式サイト』2018年10月28日アクセス、＜http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/syouhityousa.html＞。著者名（もしくはサイトの管理運営組織名） (記事執筆年月日もしくはデータの公開年月日)「ページ名」『サイト名』年月日アクセス. ＜URL＞】

Ritsumei, H. (2015). Management in food business. *Gastronomic Arts and Sciences* 1:70-100. 【メモ：学術誌の掲載論文の場合】

Ritsumei, H. (2017). Gastronomy management. In Shiga, T. (ed.) . *Food business in Japan*. Otsu: Biwako Shuppan, pp.70-100. 【メモ：論文集・書籍の分担執筆の場合】

Shiga, T., Ritsumei, H. & Kusatsu, J. (2010) *Food culture in Shiga*. Kyoto: Miyako Publishing. 【メモ：単行本の場合】

Shiga, T., Ritsumei, H. (eds.). (2010) *Food culture in Shiga*. Kyoto: Miyako Publishing. 【メモ：単行本の場合】

【執筆細則５により、引用および参照文献の記述スタイルは、原則として、APA（The American Psychological Association）方式に準ずるものとします。ただし、本誌の学際的な性格を鑑みて、執筆者の希望があれば、属する学術分野の標準的なスタイルを採用してもよいものとします。その場合は、その学術分野の代表的学術誌の執筆要項に準じ、どの学術誌を参照したか投稿票で報告するとともに、執筆要項のコピーを添付するかurlをお知らせください。また、他分野の研究者にも容易に理解できるよう、学術誌名等に関する過度な省略表記を行わないようにご留意ください。】

参考にできるサイトの例

APA形式およびその日本語版→立命館大学アジア太平洋研究

<https://www.apu.ac.jp/rcaps/uploads/fckeditor/Notes_for_Contributors_J.pdf>

経済学→

経営学→

文化人類学→『文化人類学』

<http://www.jasca.org/>

地理学→

心理学→

栄養学→

これ以外のものを参考にすることもできます。

ここまでを枚数制限の対象とする。

＝＝

これ以下は枚数制限の対象外。

英文表題と副題English title -English subtitle：

著者名Author's name:

所属・職名の英語表記：Job title and affiliation:

英文キーワードKey words (5-7 words):

英文要旨Abstract/summary(150～200 words):

　　　　　English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract English abstract

英語のネイティブ話者でない場合は、英文要旨の和訳を付すこと。

和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和訳和

1. 脚注：10ポイント、日本語はＭＳ明朝体、英語はTimes New Roman [↑](#footnote-ref-1)
2. 脚注：10ポイント、日本語はＭＳ明朝体、英語はTimes New Roman [↑](#footnote-ref-2)